

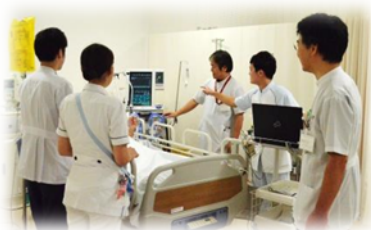
救急病床・HCU・ERと連携したICUの取り組み

ICU 師長 河野 みどり



昭和 63 年 10 月の ICU 4 床開設に始まり、平成 13 年 6 床に増設、平成 25 年に ER(救急救命)、平成 29 年には HCU が新設されました。施設面が徐々に整備されたことで ER から救急病床の確保や重症度、治療内容に応じた部署の選択肢が広がり、重症患者の受け入れ体制が強化されました。

ICU では心筋梗塞や脳血管障害、重度外傷、急性機能不全などの重症患者や大手術後、急激な容態変化を来した患者さんを受け入れています。



緊急で厳しい病態の患者さんが大半を占めており、患者さんやご家族が抱える心身の負担は非常に大きいことが窺えます。

経過とともに変化する病態や治療内容を見極め、患者さん・家族にとって最適な療養環境の提供を目指し、ER・救急病床・HCU・一般病棟と連携して計画的なベッド調整を図りたいと思っております。

命を守ることを最優先に緊張感のある部署ですが、患者さんやご家族にいつも寄り添い、多職種と連携しながら安心・安全な治療・看護を提供できるよう、これからも努力してまいります。

看護外来 ～禁煙外来での取り組み～

禁煙外来 吉本 香代子, 多木 律子



2018 年 7 月に改正健康増進法が成立し、受動喫煙対策が強化されました。2019 年 1 月に第 1 弾が施行され、今後も 7 月、2020 年 4 月と段階的な施行が予定されています。

当院は 2014 年 5 月から禁煙外来を月曜・火曜日の PM(完全予約制)にスタートさせ、現在は医師 2 名、専任看護師(禁煙認定指導看護師、禁煙サポーター)2 名で担当しております。

禁煙外来では、12 週間の中で計 5 回の外来通院を基本としており、今年 3 月現在までの禁煙外来患者数 162 名に対し、完全禁煙の卒煙者数は 102 名(禁煙成功率 63%)の実績となっています。

決められた期間の中で、喫煙や受動喫煙による健康影響についての生活指導や禁煙継続に向け

た動機づけ、無理のないスケジュール管理など健康寿命の延伸に向けて取り組んでおります。途中で喫煙しても禁煙に向けたモチベーションを維持できるように軌道修正して、生活習慣の改善へと繋がればと励んでおります。

禁煙学会へ参加し情報収集をはかり自己研鑽に励み、今後も患者さんのニーズに応じた支援に努めてまいります。

禁煙に興味をお持ちの方は是非ご連絡下さい。

左上：
真鍋医師

左下：
増田医師

右上：
多木看護師

右下：
吉本看護師

